

氏名(本籍)	はやし 林	だ 田	きよし 清	(長崎県)
学位の種類	医学博士			
学位記番号	博甲第577号			
学位授与年月日	昭和63年3月25日			
学位授与の要件	学位規則第5条第1項該当			
審査研究科	医学研究科			
学位論文題目	産業精神衛生における、1プロジェクトの縦断的健康管理の試み —国際科学技術博覧会のコンパニオンを対象にして— (dissertation形式)			
主査	筑波大学教授	医学博士	山口	誠哉
副査	筑波大学教授	医学博士	岩崎	寛和
副査	筑波大学教授	医学博士	大貫	稔
副査	筑波大学教授		紀伊国	献三
副査	筑波大学助教授	医学博士	白石	博康

論文の要旨

<目的>

産業保健上、従来の産業精神衛生とは異った、経時的な、日常職場での面接相談と、経時的な心理テストを併用して、職場での心身の健康状態を捉え、いわゆる半健康と呼ばれる軽微な不健康状態を捕捉し、産業精神保健管理の術式について研究を行った。

<方法及び対象>

科学博コンパニオン30名全員について心身の動態を調査し、精神保健の術式を研究するため、経時的に面接を実施した。また同時に Cornell Medical Index-Health Questionnaire, Zung Self-training Depression Scale, Yatabe-Guilford Personality Inventory, Japan Productivity Center Mental Health Inventory 等の心理テスト、質問調査を実施した。またこの集団に対し、疾病予防のため種々の研修を行わせ、集団力学的観察を行いその結果を考察した。

<結果及び考察>

1) 採用された各種の心理テストの結果の解析の結果、集団各員の面接経過及び閉会後の電話調査と各人の心理テストの結果は、ほぼ一致しているため、これによって心身の状態の把握は可能であると考えられる。

2) 面接結果では、合宿生活、人間関係、研修訓練が集団各人にストレスとして働いていた。

- 3) 心身不調の訴え、身体症状、問題行動は会期前半に集中し、径時的に改善していった。
- 4) 面接カウンセリング、体力トレーニングはそれらを実施していない他の集団に較べ心身不調の訴えが少ないことが判った。
- 5) 現在までの産業精神衛生の研究は、企業集団に対する横断的あるいは経年的研究が主であり、今回の研究のように特定の期間、特定プロジェクトに従事した職業人集団を対象とした研究は、国内外の文献探索の範囲にてはわずか2例でありかつ、性、年齢を含めた攪乱要因を排除していないので比較は困難である。本研究はこの種の攪乱要因除去又は修正を試みているので、結果の妥当性は高いと思われる。

審 査 の 要 旨

本研究は特定の集団の心身不調予防のために、集団力学的介入調査を行っており、産業精神衛生上、新しい方法論として評価される。特に集団構成員に対し横断的ではなく、縦断的、経時的追跡調査を行ったことは、方法論的に優れている。

よって、著者は医学博士の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。